



334複合地区スローガン

楽しく広げよう ライオンズブランド

334-B地区スローガン

地域に寄り添い
未来に掲ぶ We Serve

岐阜西ライオンズクラブスローガン 千古不易

2023年 9月 第二例会 998回

9月26日(火) 於 ホテルグランヴェール岐山 12:15～

例会プログラム

第998回 防災例会

- 司会 L.河村
会長 L.大橋
- 開会ゴング
 - 国歌斉唱並びにライオンズヒムの歌合唱
 - ゲスト及びビジターの紹介
接待委員長 L.杉野
 - 慶祝行事(9月誕生祝・結婚祝) L.大橋
 - 会長挨拶 L.大橋
 - 講演「ライオンズとアラート」
名張ライオンズクラブ L.森口充啓
 - 講演「災害ボランティアセンター運営をはじめとする社会福祉協議会の災害への対応について」
岐阜県社会福祉協議会 総務企画部
地域福祉・ボランティア担当 主任 松岡拓弥 様

< 食 事 >

- 幹事報告 L.後藤
- 各委員会報告
- テールツイスター登場 TT L.乙部
- 出席報告 出席大会委員長 L.広瀬(真)
- 会計報告 L.山崎
- また会う日まで
- 閉会ゴング L.大橋

会長・幹事報告

第998回 幹事報告

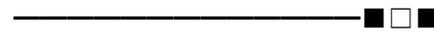
- 上半期複合地区費、複合地区大会費を会員41名分、46,740円、日本ライオンズ賛助会費、ライオン誌送料として20,846円を拠出致しました。
- 上半期地区費、地区大会費を会員41名分、270,600円を拠出致しました。
- 上期リジョン活動協力金650円×41名=26,650円を拠出致しました。
- 10月7日(土) マーケティングセミナーがウインクあいちに於いて開催され、会長L.大橋が出席致します。
- 10月19日(木) 京都嵐山ライオンズクラブ37周年記念事業チャリティゴルフ大会がメイプルヒルズゴルフ倶楽部において開催され、以下8名が参加致します。
<参加者>
L.伊藤(正)、L.井ノ浦、L.加藤、L.蒲、L.篠田、L.近本、L.長尾、L.森田



ライオン誌日本語版メールニュース

[2023年9月1日 配信]

<https://www.thelion-mag.jp/>



会計報告

ドネーション	10人	金額	57,000円
ファイン	5人	金額	18,000円
Boxファイン		金額	13,415円
合計	15人	金額	88,415円

出席報告

会員数	42人
出席数	33人
出席率	78.5%

次回例会案内

日時: 10月10日(火)12:15から
場所: ホテルグランヴェール岐山
例会名: GLT例会

慶祝行事

9月誕生祝 14日 L.伊藤 隆造
9月結婚祝 24日 L.長谷川時彦

会長挨拶

会長挨拶

会長 L.大橋 良広

皆さんこんにちは。
本日は防災例会ということで地区レベルでのアラート協力体制の先駆けを築かれた名張LCのL森口、また岐阜県社会福祉協議会よりボランティア担当の松岡様にお越しいただきました。お忙しいなか誠にありがとうございます。
L森口には「ライオンズとアラート」松岡様には「災害ボランティアセンター運営をはじめとする社会福祉協議会の災害への対応について」と題しましてご講演を賜ります。
災害被害が甚大化する傾向にある昨今、私もクラブとしてまたライオンとして何が出来るのかを考えるのですが、いつも大変難しい問題だなと感じております。L森口からはアラートの体験談をお話しいただけるとお聞きしておりますので、皆さん自分自身が問題意識を持って考えることができるようになるのではないかと考えております。
また、先日のアクティビティ「鶴飼観覧のタベ」に対する感謝状を、誠心寮様、きーとす岐阜様、サンフラワー華陽様よりいただいておりますのでご披露させていただきます。大変心のこもった内容ですので、皆さんに見ていただきたいと思います。後ほど回覧させていただきます。それでは本日もよろしくお願いたします。



特別記事

講演 「ライオンズとアラート」

ライオンズクラブ国際協会334-B地区
第4R第1Z 名張ライオンズクラブ L.森口 充啓



「ライオンズとアラート」 ※南海トラフ大地震を想定(他災害に応用)

★アラートに関心を持つ切っ掛け

ライオンズメンバー有志の集まり「ライオンネット」「334Bネット」の迅速性
⇒ライオンズ組織だから出来たと思った

(ライオンズの組織力・ネットワーク、
会員の数と各地域に分散、決定権は各自・クラブ単位)

⇒有事では、形式的体制では機能しない

☑先ずは自分が能動的に行動

☆ (今日の話は) 問題提議⇒☑各自自分なりの対策を考える

(本当に機能するか検証)

★「ライオンズとアラート」

現状(募金活動・赤十字支援等)の災害支援活動も必要 ※? 赤十字募金とLCIF寄付

☑折角のライオンズクラブ、他団体・自治体では困難な事に特化すれば

例)アラートチームは、一般ボランティアが活動している時、ボランティアの支援をしている。

※335MDは、関西広域連合の構成員で、上記内容の協定

★体験談から、ライオンズは何をすれば有効的かを ☑考える ☑体制を整える

☆阪神淡路大震災 ①決断・行動の迅速性(ライオンズなら早い判断が可能)

☑事前に協議・決定しておく事が必要(予算確保・備蓄・決定権承諾等)

☆東日本大震災 ②支援物資の受け入れ問題

A) 交通網が寸断 ☑被災を免れた隣接地の体制が大事

B) 自治体等の受入場所が一杯 ☑LC送り先は、メンバー倉庫

C) 仕分人員・配送車不足 ☑入組んだ場所は地元メンバーが得意・小型車

③有事で機能しない事が多い ☑ガバナーや首長は被災してから反省し対策(後手)

☆三重県紀宝町豪雨災害

④CAB役員の理解度(上記③問題点) ☑CAB 副委員長

⑤作成マニュアルの周知が出来ていなかった☑今の体制図では、ダメ⇒再取組み必要

⑥自治体が状況把握出来ない時(連絡体制の寸断・通信網の寸断等)

☑自治体と協定⇒メンバー個々の情報網をクラブでまとめられないか?

★名張LCのした事

A)WS6回で検討し、B)倉庫・配車リスト作成 C)名張市・社会福祉協議会と協定

※名張LCの対策は、名張が被災を免れた時に、支援するため(支援拠点)の体制
全ての地区(クラブ・CAB)で、実施して、はじめて効果がある。



講演「災害ボランティアセンター運営をはじめとする社会福祉協議会の災害への対応について」

岐阜県社会福祉協議会 総務企画部
地域福祉・ボランティア担当
主任 松岡 拓弥 様

社会福祉協議会について(自己紹介)・非営利の民間の団体です(行政、公務員ではない)→但し、法律(社会福祉法第109条～111条)で定められた公益性の高い団体・地域福祉の推進を目的とする組織です→地域社会での福祉事業の計画、提供、支援、調整を行う役割を果たしています。高齢者、障害者、子どもをはじめ、すべての人を対象に活動をおこなっています。・福祉事業を実施しています→デイサービスや訪問介護事業、障害福祉サービス事業、生活困窮者への支援など直接的な福祉の支援をする体制があります。・調整や情報発信を得意としています→高齢、障がい、児童の各分野の施設や行政など幅広いお付き合いと地域住民との関わり・ボランティア活動の推進や支援もしています→「災害ボランティアセンター」もその一つ。



社会福祉協議会について(災害・防災面での特徴) ◎社会福祉法人として地域住民の福祉と生活を支える役割 ◎地域を基盤に活動を展開 ◎日常的に住民と接している(地域の様々な組織と顔の見える関係がある) ◎センター閉所後は、社協の本来的機能として、被災者の生活支援、被災地の復興支援にあたる(生活支援相談員による支援など) ◎地域福祉を推進する団体としての機能・事業 ◎もともと使命として、地域の生活課題を把握し、解決する機能を有している ◎ほとんどの社協は平常時から「ボランティアセンター」という機能を有する ◎福祉の相談機関・福祉サービス事業者として支援が必要な人たちを把握している ◎行政や幅広い機関・団体とも関係を構築している ◎全国的なネットワークを有する組織 ◎ほぼ、すべての自治体に存在する ◎全国的なネットワークを有している。

近年の災害・被災の状況について①・気候変動で激甚化する災害と社会的な変化→「10数年に1度の豪雨」が毎年発生。災害のリスクや範囲、影響は大きい反面、地域で災害に対応できる人は減少傾向、・建築インフラで完全に防ぐことが困難→激甚化、同時多発する災害には防災インフラだけでは対応は限界。「完全に防ぐ」から被災を前提、若しくは念頭に置いた準備・対応が必要に・被災後の生活支援を念頭においた対応→被災はそれまでの生活を一変させる。被災者を支える関係や制度、福祉サービスなどの視点が重要に。

②日本国内では、地震・豪雨災害等の自然災害が頻発化しており、近年では、災害が広域化・激甚化しています。例えば、平成30年7月豪雨では、西日本を中心に、11府県110市区町村に災害救助法が適用されました。また、令和元年の台風15号・19号は、東日本の太平洋側を中心に14都県390市区町村に災害救助法が適用されています。いずれの災害も、人的被害、住家被害は甚大で、社協では、平成30年7月豪雨では60ヵ所、令和元年台風15号・19号で



ご講演いただきましたL.森口、松岡様、大変にありがとうございました！

は102ヵ所の災害VCが設置されました。活動したボランティアは、それぞれ26.3万人、21.6万人に及びます。行政・民間それぞれの強みを活かす・被災者の生活再建のためには、両方が必要・それぞれの強みを活かす、力を合わせる必要がある。◎行政・社協職員は日常の業務に加え、災害時にはさらに業務が増える◎行政・社協職員が日常的な業務を継続できるように、災害時の業務を協力していただきたい。ライオンズクラブの皆さまにお願いしたいことは、普段からご近所、お知り合いの皆さまに災害ボランティアセンターのことをお知らせください。被災した時は、災害ボランティアセンターの設置を確認し、状況に応じてご相談ください。災害ボランティアセンターの運営に力をかしていただきたいです。

誕生祝



14日 L.伊藤 隆造 おめでとうございます！

結婚祝



24日 L.長谷川時彦 おめでとうございます！